

授業科目名 (英文名)	教育原論 (Principles of Education)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	2年次・後期
担当教員	山口 裕毅	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では、教育の基本的概念を理解するとともに、教育の理念を歴史や思想の中から理解することを目的とする。その際に、「教育の目的」「教育の内容と方法」「教育の制度と経営」「教師の資質」等、現代の教育を理解するうえで必須の事項と教育の基本的概念や理念との関連についても論究する。</p> <p>本講義の到達目標は、「教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標」「子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係」「家族と社会による教育の歴史」「近代教育制度の成立と展開」「歴史的な視点からの現代社会における教育課題」「家庭や子供に関わる教育の思想」「学校や学習に関わる教育の思想」「代表的な教育家の思想」を理解すること、である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 本講義では、教育の基礎理論、教育の制度と歴史を概観する。また、現代社会や教育の諸課題との関連性についても扱う。</p> <p>【講義計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス：本講義の目標・概要の説明 2. 人間の発達と教育：発達、発達の最近接領域 3. 西洋の教育の歴史と思想：古代ギリシャ、中世、ルネサンス 4. 西洋の教育の歴史と思想：コメニウス、ロック、ルソー、カント 5. 西洋の教育の歴史と思想：ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト、デューイ 6. 日本の教育の歴史：江戸期～明治期（近代教育制度の成立過程） 7. 日本の教育の歴史：明治期～大正期（大正新教育運動） 8. 日本の教育の歴史：昭和期（戦争期の教育、戦後教育改革、教育の現代化運動） 9. 教育行政と学校の経営組織（教育行政、教育財政、教育経営） 10. 教育課程と教育方法（教育課程編成、学級の思想・原理、教育方法） 11. 新しい時代の世界的学力（PISA） 12. 生徒指導と教育相談（生徒指導、構成的グループエンカウンター） 13. キャリア教育（学校段階ごとのキャリア教育） 14. 教師の職務と専門性（教職観の変遷、教職の専門性） 15. まとめと評価（到達度の確認） 		
テキスト	適宜、資料を配布し、関連文献を紹介する。		
参考文献	<p>宇内一文編著、2018、『教職のための学校と教育の思想と歴史』、三恵社。</p> <p>佐々木司・熊井将太編著、2018、『やさしく学ぶ教育原理』、ミネルヴァ書房。</p>		
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】 教育の基本的概念、歴史、思想を理解し、社会や教育の課題群と関連付け、新たな教育のビジョンを表現できる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力等）の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>【成績評価の方法】 授業中のコメントシート・課題：40%、定期試験：60%を基準として、受講態度（積極的な質問等）を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		

実践的教育	該当しない。
備考	